

## 健康社会研究センター ニューズレター 第 19 号

2012. 1. 25 発行

### ◆ 目次 ◆

- 1 プレスリリース
- 2 主な研究成果発表
- 3 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ
- 4 採択のお知らせ
- 5 その他

### 1 プレスリリース

#### **歯が少ない人は、要介護状態になる危険性が、1.21 倍高い** (2012 年 1 月 16 日)

2003 年に愛知県の 65 歳以上の健常者を対象に郵送調査を行い、その後 4 年間追跡できた 4,425 名のデータを用いて、どのような人が要介護状態になったかを分析した。その結果、歯が 19 本以下の人は、歯が 20 本以上の人に比べて、要介護状態になるリスクが 21% 高くなることが示された。

<詳細はこちらから→ [http://square.umin.ac.jp/ages/press-releases/11\\_007.pdf](http://square.umin.ac.jp/ages/press-releases/11_007.pdf)>

#### **友人と月 1 回以上会う人に比べて、男性では友人とめったに会わない人で 1.30 倍、女性では友人を持たない人で 1.81 倍、死亡のリスクが高い** (2012 年 1 月 16 日)

人々の絆が強ければ、助け合いや情報交換が活発になると考えられる。このような人々の絆から生み出される信頼や助け合い、ネットワークなどはソーシャルキャピタルと呼ばれる。本研究では、65 歳以上の高齢者を 4 年間追跡してソーシャルキャピタルと死亡との関連を調査した。その結果、年齢や健康状態を考慮した上でも、友人と月 1 回以上会う人に比べて、男性では友人とめったに会わない人で 1.30 倍 (95% 信頼区間 = 1.10—1.53)、女性では友人を持たない人で 1.81 倍 (95% 信頼区間 = 1.02—3.23) 死亡のリスクが高かった。

<詳細はこちらから→ [http://square.umin.ac.jp/ages/press-releases/11\\_006.pdf](http://square.umin.ac.jp/ages/press-releases/11_006.pdf)>

### 2 主な研究成果発表

#### <論文>

- ① Akihiro Nishi, Ichiro Kawachi, Kokoro Shirai, Hiroshi Hirai, Seungwon Jeong, Katsunori Kondo: Sex/gender and socioeconomic differences in the predictive ability of self-rated health for mortality. PLoS ONE 7(1) doi:10.1371/journal.pone.0030179  
<<http://www.plosone.org/article/info%3Adoi%2F10.1371%2Fjournal.pone.0030179>>
- ② Jun Aida, Katsunori Kondo, Hiroshi Hirai, Miyo Nakade, Tatsuo Yamamoto, Tomoya Hanibuchi, Ken Osaka, Aubrey Sheiham, Georgios Tsakos, and Richard G. Watt: Association Between Dental Status and Incident Disability in an Older Japanese Population. Journal of the American Geriatrics Society. 2011, 12 (DOI:10.1111/j.1532-5415.2011.03791.x)
- ③ Yusuke Inoue, Seungwon Jeong, Katsunori Kondo: Changes in hospital performance after implementation of pay-for-performance in Japan. Clinical Audit 2011(3):17-23, 2011.12
- ④ Yusuke Inoue, Seungwon Jeong, Katsunori Kondo, Young-joon Seo: Stroke Rehabilitation

Performance and Outcomes among Hospitals, The Korean Society of Health Service Management  
(in press)

#### <講演等>

- ① 田中剛：(講演) 健康格差社会の視点から保健活動を考える. 平成 23 年度保健師職能研修会, 2011 年 11 月 19 日, 新潟市 (朱鷺メッセ)

#### <シンポジウム等>

- ① 国際シンポジウム「『健康の社会的決定要因』を巡る国際的動向」  
“World Trends in Research of Social Determinants of Health” 2011.12.23, Tokyo  
・Debbie Gray: WHO Action on Social Determinants of Health  
・Ichiro Kawachi: Investing in the Social Determinants of Health  
- An Idea Whose Time Has Come  
・Megumi Kano: Global Efforts to Address the Social Determinants of Health in Urban Setting  
・Katsunori Kondo: J-AGES HEART 2011 - Progress of Development and Issues
- ② 国際ワークショップ「社会疫学と老年学における国際共同研究の可能性」  
“Potentials of international collaborative research in social epidemiology and gerontology” 2012.1.8, Nagoya  
・SV Subramaniam: Comparative Epidemiologic Research: An Overview  
・Marten Lagergren, Noriko Kurube: Overview of SNAC and potentials of Japan-Sweden comparative study  
・Akira Hata: J-AGES project and Kashiwa City as a unit

### 3 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

#### 1) [第 22 回日本疫学会学術総会](#)

- 【テーマ】「社会のニーズに応える疫学」  
【会 期】2012 年 1 月 26 日 (木) ~ 28 日 (土)  
【会 場】学術総合センター・一橋記念講堂  
⇒AGES では 8 演題を報告予定です。

#### 2) 介護予防 WG (JAGES)・AGES 研究会今後の予定 ※変更になることがあります。

- ・ 2 月研究会  
【日 時】2 月 19 日 (日)  
【場 所】日本福祉大学名古屋キャンパス 7B (予定)
- ・ 3 月研究会  
【日 時】3 月 4 日 (日)  
【場 所】日本福祉大学名古屋キャンパス 7B (予定)

### 4 採択のお知らせ

- ・ 科学研究費補助金 基盤研究 A (2011-2015 年度)  
「社会的排除としての well-being 格差とソーシャル・キャピタルの研究」(23243070) が採択されました。
- ・ 平成 23 年度老人保健健康増進等事業  
「Web-GIS を活用した客観的評価指標によるベンチマーク・システムの構築」が採択されました。

## 5 その他

- ・次期の国民健康づくり運動の枠組み中に「健康格差の縮小」が明示されました  
「第1回 次期国民健康づくり運動プラン策定専門委員会」が平成23年11月29日に開催。  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001wfoo.html>
- ・厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室が用意した、「次期国民健康づくり運動プランの見直しの方向性(案)」（資料4）の「参考」として「次期プラン策定の枠組(案)」と「次期プランの目標設定の考え方(例)」が示されました。その中で「社会環境の質の向上」と「健康格差の縮小」が明示されています。  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001wfoo-att/2r9852000001wfrj.pdf>

### <以下再掲>

- ・第88回市町村セミナー（2011年11月25日開催，厚生労働省老健局老人保健課担当）で「地方自治体の先駆的な取組例紹介」として，武豊町におけるプロジェクトが紹介されました。  
[http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshoseminar/02\\_88.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshoseminar/02_88.html)  
[http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshoseminar/dl/02\\_88-24.pdf](http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshoseminar/dl/02_88-24.pdf)
- ・日本学術会議が，提言「わが国の健康の社会格差の現状理解とその改善に向けて」を發表しました。  
<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-21-t133-7.pdf>
- ・日本公衆衛生学会公衆衛生モニタリング・レポート委員会が，「高齢者における健康の社会格差」を提言しました。（2011年7月号）  
<http://www.jsph.jp/member/docs/magazine/2011/7/58-7-564.pdf>

### <お知らせ>（再）

「健康社会研究センターのホームページの「リンク」のページ <http://cws.umin.jp/link.html> の中に，「健康の社会的決定要因や介護予防の関連論文」コーナーを作りました。リンクすべき論文などの書誌情報と URL をお知らせ下さい。

---

ニューズレター第19号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせはこちら<[k-manami@n-fukushi.ac.jp](mailto:k-manami@n-fukushi.ac.jp)>までお知らせください（ご連絡の際は\*を@に変更して下さい）。

ニューズレターのバックナンバーはこちら<[バックナンバー](#)>

発行元：健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

このメールは，国際シンポジウム「健康の社会的決定要因－社会疫学の可能性」（2009年3月14日開催）及び，「『健康の社会的決定要因』を巡る国際的動向」（2011年12月23日開催），国際ワークショップ「社会疫学と老年学における国際共同研究の可能性」（2012年1月8日開催）にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリストweb登録をいただいた方に配信しています。